

# 平成24年度 社団法人愛知県漬物協会事業計画

## 1. 事業方針

我が国の経済は、依然としてデフレ傾向が続き、企業経営も厳しい状況が続いている。さらに、近年の人口減少傾向や食の洋風化により、国内の漬物市場規模は縮小している。従って、国内需要の確保や維持のため、食品に対する知識の普及や、新たな商品開発、良質な市場開拓といった取り組みへの重要性が増している。

本協会の事業は、地域の食環境を保全し、愛知県民の健康維持増進や、ゆとりある豊かな食生活に貢献するものとする。そのため、本協会会員が一致団結して、漬物の原料となる野菜などの供給について安定確保することや、漬物を通じた日本食文化の振興と、食育及び食農教育、安全安心な漬物を消費者に提供するための諸事業を実施する。

## 2. 事業内容

### (1) 消費者対策事業

インターネット上で公開している本協会ウェブサイトにおいて、消費者に対し漬物に関する積極的な情報提供を行い、漬物の知識を普及する。また、愛知県などで開催される各種イベントに積極的に出展し、関係機関と協力して漬物を始めとした食の知識の普及に努める。

さらに、全日本漬物協同組合連合会のマスコットマーク「つけ丸」を活用し、「つけもの日」(毎月21日)の普及を図るなど、全日本漬物協同組合連合会の実施するPR推進事業に協力することにより、県民の健康で豊かな生活に資する。

### (2) 食育・食農教育事業

食の洋風化が進み、漬物を食べる機会の減った子供のみならず、成人に対しても食への関心を高め、健全な日本型の食生活を維持するために必要な知識や経験の修得を目的とした食育・食農教育を実施する。また、各会員の実施する事業においても、積極的に後援などを実施するものとする。

### (3) 研修会、講習会の開催

会員及び事業者、一般消費者を対象とした研修会や講習会を開催し、安全安心を始めとした食の知識の普及に資する。また、関係機関の開催する研修会などに講師を派遣するとともに、会員の積極的な参加を促し、知識の普及や技術の向上に努める。

### (4) 環境対策事業

食品リサイクル法を始めとする環境負荷低減の取り組みを積極的に行うよう会員に促す。また、ウェブサイトなどを通じて、国の目指す低炭素型社会に向けたCO<sub>2</sub>排出削減の取組促進や、省エネルギー設備導入などの環境対策を推進する。

(5) 食の信頼向上対策事業

愛知県民の健康を守るため、関係機関とともに協力して食の安全安心の確保に取り組む。そのため、HACCP手法（ハサップ）の導入などによる危害防止と品質確保など製造過程の管理の高度化対策を実施する。また、コンプライアンス（法令遵守）を始めとし、公正適切な事業活動を通じた社会貢献を行なう。特に新たな食品表示やJAS法の改正などに、いち早く対応し、食への信頼性向上を図る。

(6) 研究補助、助成及び技術対策事業

漬物を始めとする食品製造に関する研究を実施する。会員を中心とした新たな漬物製造技術の開発研究および漬物のもつ機能性についての検討を関係機関の支援を得て実施する。

(7) 調査研究事業

愛知県の選定した伝統野菜をはじめとする特産野菜の栽培状況や、愛知県産原料の漬物への使用状況について調査を行う。地産地消や、いいともあいち（Eat more Aichi products）運動を推進し、愛知県産農産物を活用した特色ある漬物の商品化の可能性について調査研究を行う。

(8) 原料野菜生産対策事業

漬物原料野菜の品質向上と計画生産・安定供給を図るため、関係機関の指導の下に守口大根を始めとした採種ほ場を設置し優良品種を育成確保する。

また、野菜産地としての立地条件を生かした特色ある製品を開発するため、県内産地との意見交換を行い新素材の発掘・導入に努める。さらに、野菜産地では後継者不足や農家の高齢化から作付面積が減少傾向にあるため、関係機関並びに関係団体などとの連絡協力を密にして原料野菜産地づくりを推進し、加工ニーズに見合った原料野菜の安定確保を図る。

(9) 特別委員会（課題別研究会）の設置

今後の漬物生産振興のためには、解決すべき様々な課題がある。このため、協会内に必要に応じ特別委員会（課題別研究会）を設置し、会員の参加のもと、課題解決に向けた取り組みをすすめる。

(10) 寄附・チャリティー事業

本協会は、チャリティーなどを実施し、その売上げを寄附するものとする。また、漬物が日本型食生活に欠くべからざる食材であることから、生活困窮者や福祉施設などへの食料支援を行うと共に、地域社会に貢献するため、災害時における炊き出しなどのための漬物の提供を行う。なお、災害時における食料支援については、愛知県地域防災計画にも記載されている。

(11) 後継者育成対策事業

次代の漬物業の振興発展を担う後継者の育成を図るため、青年会への助成を行う。また、全日本漬物協同組合連合会など上部団体の実施する各種行事への積極的な参加を推進する。

(12) 渉外情報活動事業

全国、県、各種団体の協議会などに出席し、関係者との連絡協調を図るとともに、情報を収集し会員や消費者に周知する。

(13) 記念事業への対応

平成25年に協会設立60周年をむかえることから、公益事業の推進を始めとした諸事業の推進を図るとともに委員会を設置し、準備を行うこととする。

(14) その他

その他必要な事業については、理事会などで検討し、随時これを行う。

※ 平成24年度事業は、公益社団法人愛知県漬物協会設立後も公益社団法人の事業として継続する。